



CQM (超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 数量経済分析センター長)

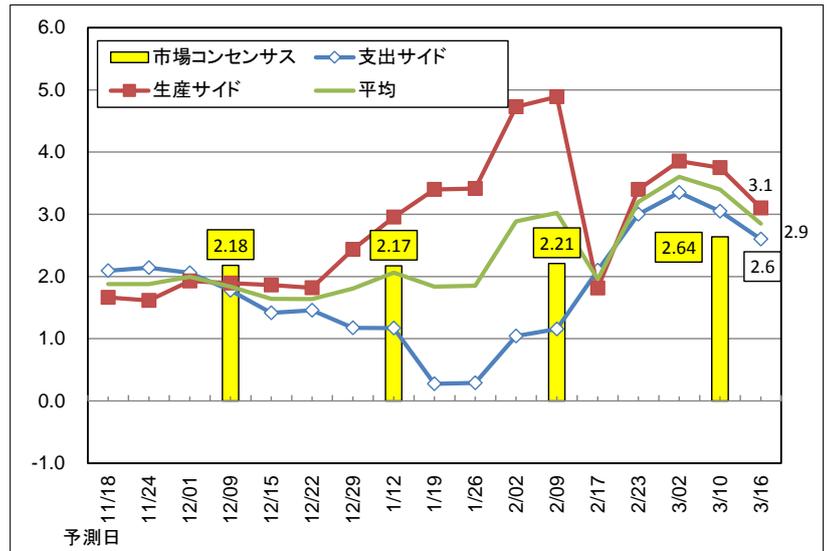
日本経済 (週次) 予測 (2015年3月16日)

内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: inada-y@apir.or.jp

ポイント

- ▶ 足下、1-3 月期の GDP を説明する基礎統計約 1/3 が公表された。
- ▶ 1 月の消費総合指数は 2 カ月連続の前月比マイナス。結果、1-3 月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から下方修正された。
- ▶ 1 月の資本財出荷指数(確報値)は速報値から下方修正された。1 月の公務等活動指数は 3 カ月連続の前月比マイナス。結果、1-3 月期の実質民間企業設備と政府最終消費支出の予測値は先週からいずれも下方修正された。
- ▶ 2 月の交易条件指数は前年比 4 カ月連続で改善した。このため、1-3 月期の実質純輸出の予測値は先週から上方修正された。
- ▶ 今週(3/16)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3 月期の実質 GDP 成長率を前期比年率 +2.6%と予測。先週の予測から下方修正。

CQM 予測の動態 : 実質 GDP 成長率 2015 年 1-3 月期 (% , 前期比年率換算)



<交易条件が大幅改善、純輸出が 1-3 月期を牽引>

今週の予測(3/16)で更新されたデータは、2 月の消費者態度指数、国内企業物価指数、輸出入物価指数、1 月の鉱工業指数(確報値)、第 3 次産業活動指数、消費総合指数、情報サービス業売上高及び機械受注統計である。これらは、民間最終消費支出、民間企業設備、政府最終消費支出、純輸出及び主要デフレータの予測値に影響を与える。

1 月の消費総合指数は前月比-0.5%低下した。2 カ月連続のマイナス。1 月実績は 10-12 月平均比-0.3%低い水準である。期待されている 1-3 月期の民間消費の回復にとっては悪いスタートとなった。実績値は事前予測を下回ったため、1-3 月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から下方修正された。

1 月のコア機械受注(前月比-1.7%)は事前予測(同-2.6%)を上回ったが、資本財出荷指数(確報値:前月比+8.8%)は速報値(同+10.3%)から下方修正された。結果、1-3 月期の実質民間企業設備の予測値は先週から小幅下方修正された。1 月の公務等活動指数は前月比-0.8%低下した。3 カ月連続のマイナス。実績は事前予測を下回ったため、1-3 月期の実質政府最終消費支出の予測値は先週から下方修正された。

2 月の輸出物価指数(円ベース)は前年比+2.7%上昇し、9 カ月連続のプラス。輸入物価指数(円ベース)は同-9.9%低下し、2 カ月連続のマイナスとなった。このため、交易条件指数(輸出物価指数/輸入物価指数)は前年比 4 カ月連続で改善した。結果、1-3 月期の実質純輸出の予測値は先週から上方修正された。

1-3 月期の GDP を説明する基礎統計約 1/3 が公表された。今週(3/16)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3 月期の実質 GDP 成長率を前期比+0.6%、同年率+2.6%と予測。先週の予測(+3.0%)から下方修正された。GDP の内訳を見ると、1-3 月期の内需は緩やかな回復(前期比+0.1%)にとどまっているが、純輸出は大幅拡大している(同+0.6%)。

- ・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
- ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6485-7690